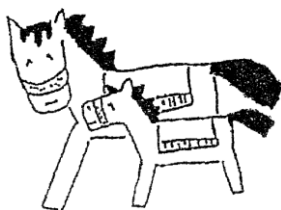


♪
お馬のかあさん
やさしいかあさん
子馬をみながら
ぽっくりぽっくり
あるく

おうまのおやこ

子育ても
あせらず待ちましょ
ポックリ、ポックリと



22年 9月 NO. 190

(厚生労働省・高松市委託事業)

〒 760-0044 香川県高松市御坊町2-2
高松保育園内地域子育て支援センター
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857
<http://www4.ocn.ne.jp/~kouma/>

～どなたでも～

9月の主な活動

～お気軽にどうぞ～

9月 4日	土	体験保育 10:00～12:00	同じ年齢のクラスに入って みんなといっしょにあそびましょう。
9月 4日	土	ヨガで身も心も軽く 14:30～16:00	夏の疲れや体の冷えを 改善しましょう。
9月 10日	金	おはなしの会 10:00～11:30	こどもたちも楽しみにしている 大すきな会です。
9月 11日	土	実用書き講座 14:00～16:00	小学生もどうぞおいで下さい。
9月 18日	土	木工教室 14:00～16:00	木製品の修理などもできます。
9月 22日	水	香川みすゞさんの会 14:00～16:00	芸術療法の1つとしてコラージュをします。 どなたでもどうぞ。(不要雑誌をお持ち下さい)
9月 24日	金	健康・育児相談 11:00～12:00	小児科園医師にゆっくり相談できます。
9月 25日	土	体験保育 10:00～12:00	出産予定の方も育児体験をしてみましょう。
9月 25日	土	ヨガで身も心も軽く 14:30～16:00	肩こり、腰痛予防にどうぞ。

- ・毎火曜日 園庭開放(13時～16時)
- ・上記の活動日以外は13時～18時まで地域開放します
ので、親子でご来園下さい。
(但し、月・日曜・祭日は休み)

育児相談(月～土) 9:00～18:00

しつけや子育てについての悩み、
保育園生活、入園・見学について
の相談もどうぞ。

金子みすゞ
童話全集3
空のかあさま・上よ

伸びろ、朝顔、
まっすぐに、
納屋のひさしが
もう近い。

今日も一寸
また伸びる。
それでも
お日さまこいしゅうて、
いっすん

西もひがしも
みんなみて、
さがしあぐねて
かんがえる。

朝顔は、
どこへすがると
さがしてると

朝顔の蔓



当園の子育て支援センターでは「香川みすゞさんの会」をサポートして、毎月当園本堂で会を開いています。

1903年に仙崎（山口県）で生まれ512編の童謡詩を遺した金子みすゞさんに心をよせながら、この会では自分育て、子育て、孫育てについて語り合っています。今月はみすゞさん没後、埋もれていた作品を16年もかけて見つけ出し、みすゞさんの思いを語りつづけている矢崎節夫氏（童謡詩人）の著書「みすゞコスモス2 いのちこだます宇宙」（JULA 出版局）から、ご紹介します。



それ 見 て た。	鳴 か ず に	お 部 屋 で	そ れ み て た。	か あ さ ん	雀 の	笑 っ て た。	か あ さ ん	そ の 子 の	つ か ま え た。	子 雀	子 供 が	雀 の か あ さ ん
--------------------	------------------	------------------	------------------------	------------------	--------	-------------------	------------------	------------------	------------------------	--------	-------------	----------------------------

「雀のかあさん」を読むと、「さるのお母さんは、赤ちゃんを右で抱きますか、左で抱きますか」という質問がいつも浮かびます。誰が最初に考えだされたのかはわかりませんが、お母さんのまなざしがわかる、とてもよい質問で、時々、使わせてもらっています。そんな時

「左で抱きます」と、もちろん、ほとんどの人が答えてくれます。

「では、どうして左で抱くのですか」とたずねると、驚くことに、「右手で何かをするから」というのです。

これでは、[子供が／子雀／つかまえた。その子の／かあさん／笑ってた。]と同じ発想なのです。つまり、人のほうから、お母さんの側からだけの発想です。いえ、お母さんの側というより、一個人としての側からの発想でしかありません。

なぜなら、この発想は赤ちゃんを荷物と同じ存在にしてしまっているからです。

“このお母さんなら、このお父さんなら愛してくれると思って、生まれてきてくれた子どもたち”です。この小さい人たちの側に立って考えることができる人が、真のお母さんであり、お父さんなのです。

ですから、「どうして左で抱くのか」の答えは、「心臓の音が聴こえる左で抱くほうが、赤ちゃんが安心するから」なのです。

残念ながら、私を含めた大人の多くが、本当の大人でなくなったような気がします。

たとえば、保育園や幼稚園に通っている小さい人たちのことを、大人は園で楽しく

遊んでいるだけだと思っています。

しかし、じつは“園児も園でお仕事をしている”のです。

もちろん、お父さん、お母さんの仕事と質はちがいますが、ただ遊んでいるのではなく、いろいろな人間関係の中で、一生懸命仕事をしているのです。本当は過剰労働を強いられている子もいるのです。

“我が子も園で仕事をしている”と考えてくれるお母さんだったら、その子はどんなにしあわせでしょうか。こんなお母さんだったら、自分の疲れを取る前に、きっと我が子のこころの疲れを取ってくれるでしょう。こころの疲れは、大好きなお母さんにぎゅうっと抱きしめられるだけで取れるのですから。

大人の側からではなく、園児の側から考える時代だとも思うのです。

小さな子がいる家庭には、もっとお母さんとお父さんが我が子と一緒にいる時間を増やせるように、国や企業が責任を持って考える、そんな21世紀でありたいと思います。

“その子が生まれてきてくれたから、お父さん、お母さんになれた私たち”です。我が子の誕生日は、お父さん、お母さんにとっても、お父さん、お母さんになれた誕生日なのです。

「生まれてきてくれてありがとう」

「生んでくれてありがとう」

と、その子の誕生日と一緒に、お父さん、お母さんになれた誕生日も祝ってくれるといいなと、この頃とても思います。

鯨法会 ほづえ

鯨法会は春のくれ、
海に飛魚採れるころ。

浜のお寺で鳴る鐘が、

みのも
ゆれて水面をわたるとき、

村の漁夫が羽織着て、

浜のお寺へいそぐとき、

沖で鯨の子がひとり、

その鳴る鐘をききながら、

死んだ父さま、母さまを、

こいし、こいしと泣いています。

海のおもてを、鐘の音は、

海のどこまで、ひびくやら。

〔鯨法会は春のくれ／海に飛魚採れるころ。〕

すべてのものが新しいいのちを育む春、その春の暮れだからこそ、この1行にはなおさらさびしさがつづります。

みすゞさんのふるさと仙崎は、古くから漁師町として栄えたところでした。そして、もう1つ、江戸から明治初期にかけて、日本でも有数の捕鯨基地でもありました。

この鯨と、海に生きるすべてのいのちに対して、浄土宗では鯨回向、浄土真宗では鯨法会ほうえとよばれる法要が、古くは延宝7(1679)年から今日まで続けられているのです。

母鯨と共にいのちを失った胎児のために、青海島には「鯨墓」が残されています。この墓には、元禄5(1692)年から明治初期までに捕った胎児70頭ほどが埋葬され、次のような文字が刻まれています。

ごうじん うじょう すいほう ふしゅう
業尽有情 雖放不生

南無阿弥陀仏

こしゆくにんでん どうしようぶつ か
故宿人天 同証仏果



「母鯨と共にいのちの終った子鯨よ。海へ放してやりたいが、とうてい生きること
はできないであろう。どうぞあわれな子鯨よ。ならば人間と共に人間の慣習によって、
仏の功德を受けてほしい」

「鯨墓」は全国に50基ほどあるそうですが、これだけの胎児を実際に埋葬しているのは、ここだけだといいます。この鯨墓は、いつでも胎児たちが生みの母鯨に会えるように、海で亡くなった母鯨が胎児に会えるように、海にむかって建っています。

それだけではなく、青海島・通の向岸寺には、「鯨の位牌」と「鯨鯢群類過去帳」が残っていて、海に生きるこの土地の人々のいのちに対する深いやさしさを感じます。

向岸寺の海側、大越の浜には2つの墓が並んで建っています。1つは、「常陸丸遭難者」の墓であり、もう1つは、「露艦戦士」の墓です。

みすゞさんの生まれた翌年の明治37(1904)年2月、日露戦争が起こりました。その年の6月16日、千人を超える兵士をのせた輸送船・常陸丸が対馬海峡でロシア艦隊の砲撃を受け、多くの兵士が船と運命を共にしました。その遺体が大越の浜に漂着したのを、ここに葬ったのが、「常陸丸遭難者」の墓です。

「露艦戦士」の墓は、翌年の明治38(1905)年5月27日、バルチック艦隊と日本連合艦隊との戦いで戦死したロシア兵士の遺体が、同じ大越の浜に漂着したのを葬り、供養したものです。

敵味方を超えて、日本海にむかってよりそうように建っているこの2つの墓は、鯨墓の延長上にあるような気がします。

生きとし生けるもの、この世のすべてにあたたかいまなざしを投げかけた金子みすゞ。

みすゞさんのまなざし、こだましあうまなざし、むこう側からも見、考えることのできるまなざしは、仙崎という風土が生み、育てたといつていいでしょう。

